2027年度

学生募集要項

学校推薦型選抜

スポーツ推薦
指定校推薦
指定校推薦（地域教員養成方式）

日本体育大学
Nippon Sport Science University

■ **体育学部**
体育学科／健康学科

■ **スポーツ文化学部**
武道教育学科／スポーツ国際学科

■ **スポーツマネジメント学部**
スポーツマネジメント学科／スポーツライフマネジメント学科

■ **児童スポーツ教育学部**
児童スポーツ教育学科（児童スポーツ教育コース／幼児教育保育コース）

■ **保健医療学部**
整復医療学科／救急医療学科

建学の精神（基本理念）の解釈・ミッション（社会的使命）・ビジョン（目標）

●建学の精神（基本理念：創立の想い、設置目的）

『體育富強之基』

真に豊かで持続可能な社会の実現には、心身ともに健康で、体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成が不可欠である。

本学は、その母体を明治 24（1891）年に設立された体育会（翌年、日本体育会に改称）とし、この時、創設者日高藤吉郎が掲げた、「體育富強之基」（「体育は富国強兵の基本である」）を建学の精神としている。

昭和 24（1949）年、日本体育大学体育学部設置に際し、国際平和の実現に寄与する国づくりを念頭に、その精神は、「体育は肉体をより強靱に富ます基礎である」と解されるようになった。

さらにその後、本学が創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人々の願いである“心身の健康”を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指導者の育成を追求し続けてきたことに鑑み、今日、この建学の精神（基本理念）は、上掲の通り、解釈が加えられている。

●ミッション（社会的使命：果たすべき役割、存在意義）

本学は、「建学の精神」の具現化、即ち、「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」のため、次の使命を果たす。

1．体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野における先駆的・実践的研究を通じて、人間の「活力ある身体」について、その真理を探究する。
2．国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する。
3．スポーツ文化の深化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実践・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する。
4．高度な国際競技力を有し、他者の「生き方」モデルとなる優れたアスリートを育成するとともに、人間の心身の可能性（生命の輝きや身体の躍動など）を追究し、活力に満ちた社会の創生に貢献する。

●ビジョン（目標：目指すべき姿、将来像）

本学は、その社会的使命を果たすとともに、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、かかる分野のリーディング･ユニバーシティを目指し、「教育」「研究」「社会貢献」について、次の目標を定める。

［教育］

人間の「活力ある身体」を熟知し、その多様性を受け容れ、地球市民として各分野で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

そのため、教養及び専門的知識･技能の修得、涵養はもとより、コミュニケーション力（言語･表現力）、課題発見・解決力、創造的思考力などを身につけ、複眼的な視点をもって協働・共生のできる人材を養成する。

［研究］

真摯な基礎研究と課題解決に向けた実践的研究を高い水準で展開し、各専門分野の連携を図りながら、学際的研究に取り組むとともに、その成果を広く社会に発信する。

とりわけ、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する双方向的研究活動を推進する。

［社会貢献］

あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。

これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。

目　　次

入学定員及び募集人員 …… 4
出願から入学までの流れ …… 5
体育学部が定める３つの方針 …… 6
スポーツ文化学部が定める３つの方針 …… 9
スポーツマネジメント学部が定める３つの方針 …… 11
児童スポーツ教育学部が定める３つの方針 …… 13
保健医療学部整復医療学科が定める３つの方針 …… 15
保健医療学部救急医療学科が定める３つの方針 …… 17
「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的評価について …… 19
選抜要項
・スポーツ推薦 …… 20
・指定校推薦 …… 23
・指定校推薦（地域教員養成方式） …… 25

出願に関する注意事項
1. 受験票について …… 27
2. 学校推薦型選抜を受験するにあたって …… 27
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について …… 27
4. 外国籍を有する者の出願書類について …… 27
5. 本学からの連絡について …… 27
Web出願の流れ …… 28
出願手続Q&A …… 32
受験上の注意事項 …… 33
合否照会について …… 35
入学手続 …… 36
学費案内 …… 37
学生生活案内 …… 38

入学定員及び募集人員

※募集人員は目標数であり、試験結果により合格者数は増減することがあります。

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜							学校推薦型選抜			一般選抜		
			学部別選考方式	実技方式	全学併願基礎学力方式	高大連携方式	アスリート方式 10月	アスリート方式 12月	アスリート方式 2月	スポーツ推薦	指定校推薦	指定校推薦(地域教員養成方式)	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
体育学部	体育学科	800	550							200			50		
	健康学科	195	130							50			15		

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜						学校推薦型選抜		一般選抜		
			学部別選考方式	全学併願基礎学力方式	高大連携方式	アスリート方式 10月	アスリート方式 12月	アスリート方式 2月	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
文化学部 スポーツ	武道教育学科	90	75						13			2	
	スポーツ国際学科	90	55						25		10		

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜						学校推薦型選抜		一般選抜		
			学部別選考方式	全学併願基礎学力方式	高大連携方式	アスリート方式 10月	アスリート方式 12月	アスリート方式 2月	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	245	160						65		20		
	スポーツライフマネジメント学科	110	70						30		10		

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		
			学部別選考方式	全学併願基礎学力方式	高大連携方式	アスリート方式 10月	アスリート方式 12月	アスリート方式 2月	スポーツ推薦	指定校推薦	指定校推薦(地域教員養成方式)	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース	120	80						30			10		
	幼児教育保育コース	50	37						10				3	

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜				学校推薦型選抜		一般選抜		
			学部別選考方式	基礎学力方式	全学併願基礎学力方式	高大連携方式	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
保健医療学部	整復医療学科	90	70				14		6		
	救急医療学科	80	64				10		6		

学部	学科・コース	募集人員	帰国生及び国際バカロレア資格選抜	外国人留学生選抜	リカレント選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	若干名	●	●	●	●
	健康学科		●	●	●	●
スポーツ文化学部	武道教育学科		●	●	●	―
	スポーツ国際学科		●	●	●	―
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●	―
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●	―
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース		●	―	●	―
	幼児教育保育コース		●	―	●	―
保健医療学部	整復医療学科		●	―	●	―
	救急医療学科		●	―	●	―

出願から入学までの流れ

ス　ポ　ー　ツ　推　薦 指　定　校　推　薦 指定校推薦（地域教員養成方式）	参照ページ
出願資格（推薦基準）を確認する 選抜要項を確認する	各選抜要項
⬇	
出願書類をホームページより入手して作成する	各選抜要項
⬇	
Web 出願を行う（各選抜出願期間）	p.28 ～
⬇	
出願書類を「速達・特定記録郵便」で郵送する	p.31
⬇	
受験票を印刷する	p.31
⬇	
試験日に受験する	
⬇	
合格発表を確認する	p.35
⬇	
入学手続を行う	p.36
⬇	
入学前教育を受ける	別途案内
⬇	
入　学	別途案内

志願者の提出書類について

出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項を行うために利用します。これらの業務の一部を本学より業務の委託を受けた業者に個人情報を提供する場合があります。

また、個人が特定されないように統計処理した情報を、今後の入学者選抜及び広報活動のための調査に利用します。予めご了承ください。

体育学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

体育学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する専門教育並びに教養科目に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
（1）幅広い教養と専門分野（体育学・スポーツ科学・健康科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
（2）体育とスポーツ文化への理解をもち、体育・スポーツの発展に貢献できる人物になるための科学的知識・思考並びに実践力を身に付けている。
2．汎用的能力
（1）専門的知識を使って体育･スポーツ･健康に関する課題の発見･解決の方法を見出すことができる。（課題発見･解決能力）
（2）現象を筋道を立てて思考し、課題解決のために科学的思考と規範的判断力を運用できる。（論理的思考力・規範的判断力）
（3）ICTをはじめとする多様な手段を使って情報を収集・分析し、日本語と外国語を使った高度なコミュニケーションができる。（リテラシー）
（4）競技力向上から教育・健康・福祉まで、人々の多種多様な体育・スポーツ・健康への取り組みを専門的知見に基づいてサポートすることができる。（未来社会を構想・設計する力）
3．態　度
（1）世界、日本、地域社会における様々な体育･スポーツ･健康の課題解決に向かって主体的に参画し、多様な活動を立案･運営できる。
（2）共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。
（3）現実の社会生活において規範やルールを尊重し、高い倫理観を備えようとしている。
（4）教養並びに専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けながら自己を大切に生きようとしている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
（1）本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
（2）体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の４つの学外（野外）実習科目を設ける。
（3）体育・スポーツの専門家として、また人権意識を持つ地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
（4）多様性を受け容れ、共生・共感的態度を持った体育・スポーツの専門家として幅広い教養を身に付け、生涯学び続ける態度を養うために「スポーツ教養科目」並びに「基礎教養科目」を配置する。
（5）体育学の学問的専門性を養うために、体育学全般の基礎を扱う「研究ゼミナールＡ」を１年次に、各コースでの専門への導入を扱う「研究ゼミナール Ｂ」を２年次に、卒業研究のための基礎的研究活動を行う「研究ゼミナールＣⅠ」を３年次前期、「研究ゼミナールＣⅡ」を３年次後学期に配置する。卒業研究のための実践的研究活動を行う「研究ゼミナールＤⅠ」を４年次前期、卒業研究を含む「研究ゼミナールＤⅡ」を４年次後学期に配置する。以上の科目設置によって体育学の専門家としての段階的、体系的な能力向上を図る。
（6）多様な社会や人材へ対応することができるよう「サブプログラム」を設ける。

［体育学科］
スポーツ科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるため、体育学科共通科目を設ける。
（1）スポーツ科学専攻
競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践的応用力を養うために「アスリートプログラム」「スポーツコーチングプログラム」「競技サポートプログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。

① アスリートプログラム
競技力向上に関する専門的知識と実践力を身に付けるため、アスリートに関わる専門的知識と実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
② スポーツコーチングプログラム
スポーツコーチングに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、競技力向上のための実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
③ 競技サポートプログラム
競技サポートに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、必要な専門科目と競技サポート実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。

(2) スポーツ教育専攻
学校現場をはじめとして、体育・スポーツ実践に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するために、「スポーツ教育プログラム」及び「特別支援教育プログラム」を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう関連科目を配する。
① スポーツ教育プログラム
スポーツ指導者や保健体育科教員に必要な基礎的知識と実践力を身に付けるため、体育学・スポーツ科学・健康科学に加え、教育学、体育科・保健科教育法、スポーツ実践指導法に関する科目を設ける。
② 特別支援教育プログラム
保健体育科教員に加え、特別支援学校教員としての専門知識と実践力を身に付けるため、特別支援教育に関わる総論と共に、免許領域（知的障害、肢体不自由、病弱）に関する科目を設ける。

［健康学科］
健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、健康学科共通科目を設ける。

(1) ウェルネスライフ専攻
地域の幅広い年齢層を対象にした健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、ウェルネスライフ専攻共通科目を設ける。
① 地域健康サポートプログラム
明るい健康長寿社会の実現に向けて、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付ける。地域に根差した健康と福祉の増進に関する「地域健康サポートプログラム科目」を設ける。
② 健康ウェルネスプログラム
健康長寿時代における自他の身体作りをサポートするための専門的知識と実践力を身に付けるために、医科学及び指導法に関する「健康ウェルネスプログラム科目」を設ける。

(2) ヘルスプロモーション専攻
学校現場をはじめとして人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するためのカリキュラムとして「身体教育プログラム」「養護教諭プログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。
① 身体教育プログラム
子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けるため、身体活動と保健教育に関する「身体教育プログラム科目」を設ける。
② 養護教諭プログラム
子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた養護教諭に必要な専門的知識と実践力を身に付けるための「養護教諭プログラム科目」を設ける。

サブプログラム
以上のほか、多様な社会や人材へ対応することを目的に以下のサブプログラムを配置する。
○ アカデミックプログラム
○ 保健体育教諭養成プログラム
○ アスレティック・トレーナー養成プログラム
○ 航空産業プログラム
○ モータースポーツ産業プログラム
○ 留学生プログラム

２．教育方法
(1) 講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
(2) 科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。

３．学修の評価
（1）各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
（2）学生自身が学修をふり返り、自己評価を行う機会を設ける。
（3）卒業研究によって提出された論文または制作物等から４年間の学修成果を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

［求める学生像］
１．世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の未来構想及び課題解決に関心のある人
２．体育とスポーツ文化並びに健康への関心をもち、体育・スポーツの発展に貢献しようとする人
３．他者と協調・協働し、課題解決や未来に向けて活動することに意欲を有している人
４．体育学部で学修する上で、中等教育などで身につけるべき基礎学力を有している人
５．体育・スポーツ・健康の専門的知見を基礎として、それらに関係する領域をはじめ広く社会で活躍したい人

［入学者選抜の種類］
入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツ文化学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツ文化学部では、本学の「教育目標」と本学が培ってきた伝統に基づき、我が国の体育・スポーツ界並びに来るべき社会を国際的にリードできる人材の育成を図るための独自の教育・研究プログラムを通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
（1）幅広い教養と、伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道並びに伝統芸能に関連した科学的な知識と技能を身に付けている。
（2）武道並びに伝統芸能を通じて国際的に貢献するために必要な科学的な知識と技能を身に付けている。
（3）日本の精神文化に立脚した体育・スポーツを通じた国際的な社会的課題の解決に必要な知識と技能を身に付けている。
2．汎用的能力
（1）スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切に課題を解決することができる。（課題解決力）
（2）スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切なコミュニケーションを営むことができる。（コミュニケーション能力）
（3）課題解決に必要な情報を収集、評価、活用できる。（情報収集力）
3．態　度
（1）主体性をもって多様な人々と協働し、スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて取り組もうとしている。
（2）多様な他者の意見や思いを共感的に理解しようとしている。
（3）生涯にわたり新しい知識やスキルを積極的に身に付けようとしている。
（4）スポーツの価値や礼節を尊重し、その実現に向けて責任をもって行動しようとしている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
（1）本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
（2）体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の４つの学外（野外）実習科目を設ける。
（3）多様性を受け容れ、共生･共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
（4）よき市民及び国際人として身に付けるべき基本的な素養としての社会人基礎力と調和の取れた人間力を形成するため、学部共通科目に「教養科目」を設け、基礎教養に関わる科目と言語コミュニケーション科目を置く。
（5）体育・スポーツを通じて国際的な社会的課題を主体的に解決できる能力を育成するために、「総合科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツ文化研究Ａ」、２年次に「スポーツ文化研究Ｂ」、３年次に「スポーツ文化研究Ｃ・Ｄ」、４年次に「スポーツ文化研究Ｅ・Ｆ」を必修とし、課題解決力、コミュニケーション能力、情報収集力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
（6）スポーツ・健康科学並びにスポーツ指導の基礎的知識、技能、態度を修得するために、「基幹科目」、「展開科目」、「専門科目（体育実技）」を設ける。
（7）スポーツを通じた国際貢献の基幹となる知識、技能並びに態度を習得するために「学科基礎科目」を設ける。
① 武道教育学科
わが国固有の精神文化に立脚した体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
② スポーツ国際学科
海外の体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
（8）体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能等を総合的に活用するために「学科専門科目」を設ける。
① 武道教育学科
武道教育、伝統芸能、体育指導などに関わる教養とスキルを向上させる科目を置く。
② スポーツ国際学科
スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などで今日的課題を実践的に解決する力を獲得するために、国際的な教養とスキルを向上させる科目を置く。

２．教育方法
（1）講義、反転学習、ピア学習、課題探究型学習等を効果的に組み合わせることで、他者と双方向的に関わりながら主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて多様な価値観をもつ人たちとコミュニケーションができる機会を提供する。
（2）課題探究型学習、フィールドワーク、収集したデータの協同的な分析、発表の機会を設定することで自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に対する興味関心を高める機会を提供する。
（3）海外でのスポーツ文化交流や指導体験を通して、異文化理解を促進する機会を提供する。
３．学修の評価
（1）シラバスに示した評価規準に即して学修成果を評価する。
（2）学修成果は、最終テスト並びに授業過程において実施する小テスト、レポート、発表、実技試験等を踏まえて評価していく。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ･ポリシー及びカリキュラム･ポリシーに基づき、アドミッション･ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】
１．スポーツを通じた日本国内外の社会的課題の解決に関心のある人
２．体育・スポーツに関して、自己アピールできるものをもっている人や見つけたい人
３．他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
４．社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人
５．多様な文化・価値観を学び、国・地域や国際社会で活躍したい人

【入学者選抜の種類】
入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツマネジメント学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツマネジメント学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
(1) 幅広い教養と専門分野（体育スポーツ学、スポーツマネジメント学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
(2) 現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を有効に活用することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を推進し得る実践的なマネジメント力を身に付けている。

2．汎用的能力
(1) 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決のための方策を企画・実行することができる。（企画力、課題解決力）
(2) 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
(3) 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
(4) ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）

3．態　度
(1) スポーツを事業として捉えてビジネスチャンスを見出す、ライフステージに応じたスポーツや運動プログラムを企画するなど、スポーツの新たな価値を創造する意欲を有している。（新たな価値の創造）
(2) 様々な立場の人と協調・協働し、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
(3) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感）
(4) 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
(5) 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
(1) 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
(2) 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の４つの学外（野外）実習科目を設ける。
(3) 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
(4) 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と２年次に「教養科目」を設ける。
(5) スポーツマネジメントにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から４年次までを通した「総合教育科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツマネジメント研究Ａ」、２年次に「スポーツマネジメント研究Ｂ」、３・４年次に「スポーツマネジメント研究Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆ」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
(6) 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「基幹科目」と「展開科目」を設ける。
(7) 専門分野の知識・技能を身に付け、社会の状況に応じた実践的マネジメント能力を高めるために、各学科に「学科基礎科目」と「学科専門科目」を設ける。
① スポーツマネジメント学科
スポーツに関係する組織や団体、企業等をマネジメントしたり、スポーツをビジネスと関連付けてマネジメントするための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営など様々なスポーツビジネスの実践現場に活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養い、新たな価値を生み出す意欲と態度を培うために、「学科専門科目」を設ける。

② スポーツライフマネジメント学科
多様な人々のスポーツライフをマネジメントし、現代社会の様々な課題を解決するための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、部活動、地域スポーツ、まちづくり、健康づくりなどに関わる指導力とマネジメント力を向上させるための「学科専門科目」を設け、専門性の高い指導者を養成するためにアウトドアスポーツに関わる理論・実習、スポーツ・レクリエーションの実技、高齢者や障がい者のスポーツ指導に関する実技などの科目を配置する。

(8) 多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

２．教育方法
(1) 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
(2) 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL 型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

３．学修の評価
(1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、授業内で学生に周知する。
(2) 学修成果は定量的、定性的に評価する。
(3)「スポーツマネジメント研究Ｅ・Ｆ」での成果、提出された論文等から４年間の学修を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

１．スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについての知的好奇心の旺盛な人
２．体育スポーツ学、スポーツマネジメント学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
３．授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲を有している人
４．国内外において体育・スポーツを推進し社会に貢献できるリーダーを目指す人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

児童スポーツ教育学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

児童スポーツ教育学部では、本学の「教育目標」に基づき、教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（児童スポーツ教育学）」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
（1）幅広い教養と専門分野（教育学・保育学、体育・スポーツ科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
（2）児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を身に付けている。
2．汎用的能力
（1）課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決することができる。（課題解決力）
（2）筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
（3）日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
（4）ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）
3．態　度
（1）様々な立場の人と協調・協働し、教育学・保育学、体育・スポーツ科学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
（2）共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感的態度）
（3）社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
（4）自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
（1）共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、チームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、本学独自の「日体大総合科目」を設ける。
（2）幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と２年次に「教養科目」を設ける。
（3）外国語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的とした「言語コミュニケーション科目」を２年次までに設ける。
（4）教育・保育、体育・スポーツにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から４年次までを通した「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」を設ける。この科目群では、初年次に「基礎ゼミナール」、２年次に「児童スポーツ教育演習」、３・４年次に「児童スポーツ教育研究」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
（5）教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「共通専門科目」を２年次までに設ける。
（6）専門分野の知識・技能を身に付け、児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を高めるために、「スポーツ実技科目」と「コース専門科目」を設ける。
「コース専門科目」については、各コースで次のように配置する。
① 児童スポーツ教育コース
初等教育に関する知識と指導力を身に付けるために、２・３年次を中心に「教育の基礎に関する科目」、「教科の内容と指導法に関する科目」、「中学校関連科目」を配置する。併せて、本コースの特徴である身体・健康・スポーツに関わる「発展・展開科目」を３年次までに設ける。
② 幼児教育保育コース
幼児教育・保育に関する知識と指導力を身に付けるために、１・２年次を中心に「教育・保育の基礎に関する科目」を設け、２年次を中心に「保育の内容と指導に関する科目」を各学年に配置する。併せて、幼児教育・保育の様々な分野に関する専門的知識と技術を身に付けるために、「発展・展開科目」を３年次以降に配置する。さらに、「教育・保育実習科目」を２年次から３年次までに段階的に配置する。
（7）教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

２．教育方法
（1）講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
（2）科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL 型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。
３．学修の評価
（1）各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、ルーブリックを作成し、授業内で学生に周知する。
（2）学生自身が学修履歴を記録するポートフォリオを用意し、学修をふり返り、自己評価を行う機会を「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」の授業の中に設ける。
（3）「児童スポーツ教育研究」によって提出された論文・成果物等から４年間の学修を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

［求める学生像］
１．教育・保育への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
２．教育学・保育学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
３．授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
４．社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人

［入学者選抜の種類］
入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部整復医療学科が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保健医療学部整復医療学科では本学の「教育目標」に基づき、整復医療学、医学・伝統医学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（整復医療学）」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
（1）幅広い教養と整復医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
（2）整復医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。
2．汎用的能力
（1）国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
（2）ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
（3）他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）
3．態　度
（1）社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
（2）共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、共感的態度）
（3）社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
（4）省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
（1）学部共通教育課程
① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。
（2）学科専門教育課程
専門分野の知識・技能を体系的に身に付け、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。
① １年次と２年次を中心に、人体の構造や機能を学ぶ科目や柔道整復学の基礎を学修する科目を設ける。
② ２年次から４年次にかけて、病理学や整形外科学等の現代医学に関する科目と発展的な柔道整復学やアスリートの外傷予防や治療、リハビリテーションについて学修する科目を設ける。
③ ライフステージや健康状態、スポーツ活動等の特徴に応じた柔道整復の実践を身に付けるため、１年次から４年次にかけて学修段階に応じた臨床実習科目を設ける。
④ 学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため整復医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
2．教育方法
（1）講義・演習：知識の定着と技術の正確性を高めるため、反復して学修することを重視する。また、アクティブラーニングを適宜行い、意見や解釈の多様性を理解する。
（2）実習：参加型実習を重視する。倫理観、協調性、自己の役割と責任を認識し、主体的に行動できるよう促す。また、プレゼンテーションの場を適宜設定し、知識の整理と伝える力を養成する。
（3）臨床実習：多様な患者ニーズに応えるための総合的な実習をスポーツ現場や接骨院でおこなう。

３．学修の評価
（1）各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
（2）学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等によりおこなう。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

［求める学生像］
１．整復医療学への強い関心を持ち、これらの知識・技術をとおして社会に貢献する意欲がある人
２．整復医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
３．自分の考えを論理的にまとめ、表現するためのコミュニケーション力を有する人
４．多様な人々と協調・協働し、主体的な学びや問題解決への取り組みに意欲がある人

［入学者選抜の種類］
入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部救急医療学科が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保健医療学部救急医療学科では本学の「教育目標」に基づき、救急医療・蘇生医療・災害医療、体育･スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士(救急医療学)」を授与する。

1．幅広い教養と専門分野の知識・技能
（1）幅広い教養と救急・災害医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
（2）救急医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。
2．汎用的能力
（1）国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
（2）ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
（3）他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）
3．態　度
（1）社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
（2）共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、利他の精神をもって思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、利他性、共感的態度）
（3）社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
（4）省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1．教育課程の編成
（1）学部共通教育課程
① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。
（2）学科専門教育課程
教育課程全体を通じて崇高な精神と高い倫理観を養い、専門分野の知識・技能を体系的に身に付けるとともに、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。
① 1年次に医療の基礎的な分野の知識を学び、実習では救護対応で必須の観察・判断・処置を学ぶ科目を設ける。また、医の倫理を学ぶために、解剖学に関する科目を設ける。
② 2年次からより専門的な分野の知識を学び、実習では救急救命処置に必須の知識と技術を学ぶ科目を設ける。
③ 2・3年次には実際の現場においてより実践的に学ぶための病院内実習、救急車同乗実習等を設ける。また、災害医療の実践力を育成するために災害現場を想定した実習科目を設ける。
④ 3・4年次には学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため救急医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
⑤ 国際的な視野を身に付けるために、国際的な救急システムに関する科目を設ける。
2．教育方法
（1）講義、演習、実技、実習を配置し、学修の充実を図る。特に演習、実習を充実させることで実践力を醸成する。
① 講義：インプットとアウトプット(レポート課題など）を両立させながら、知識の定着や論理的思考を養う。
② 演習・実習：医学的根拠を含めた知識の定着と技術の正確性を向上させるため、反復して修得することを重視する。
③ 学生の習熟度に合わせたリメディアル教育を実践する。
（2）科目特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を1年次から展開し、動機付け･目的意識の向上を促す。

３．学修の評価
（1）各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
（2）学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等で評価する。
（3）救急救命士国家試験における厚生労働大臣の指定する科目については、国家試験水準での点数評価を重視する。
（4）学修到達度の確認には各科目での成績評価に加え、全ての科目においてルーブリックによる評価基準の可視化を実施する。さらに科目特性や必要に応じてポートフォリオによる学修者の省察を実施する。
（5）専門知識と医療技術に関する実践能力は、OSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）で評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

［求める学生像］
１．救急・災害医療学への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
２．救急・災害医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
３．授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をチームで実践できる人
４．国家資格である救急救命士を理解し、倫理観や責任感を有する人

［入学者選抜の種類］
入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分		選考方法	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
学校推薦型選抜	スポーツ推薦 指定校推薦	推　薦　書			●
		調　査　書	●		●
		※小論文試験	●	●	
		面接試験		●	●
	指定校推薦（地域教員養成方式）	推　薦　書			●
		調　査　書	●		●
		面接試験		●	●

※ 小論文試験はスポーツ推薦のみ。

「小論文試験」

志望学部・学科での学修に関わる基礎的内容に関して自身の考えを文章表現し、理解力、文章構成・表現力、分析力等を論述する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「面接試験」「推薦書」

直接の対話や出願時に提出する書類により、学力試験では測ることのできない適性や意欲、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書、学修計画書（指定校推薦地域教員養成方式）については、出願要件（学習成績の状況）の確認及び面接試験等の資料として活用し、総合的に評価する。

また、入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。

選 抜 要 項

スポーツ推薦

1．出願資格

次の（1）～（4）のいずれかに該当し、各選抜の出願要件を満たす者。

（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和９年３月卒業見込みの者。

（2）特別支援学校の高等部または高等専門学校の３年次を修了した者、または令和９年３月修了見込みの者。

（3）通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和９年３月修了見込みの者。

（4）学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、または令和９年３月までにこれに該当する見込みの者。

※（4）に該当する者で、調査書等の出願書類が提出できない方は、必ず出願開始の２週間前までにアドミッションセンターまで申し出てください。

2．推薦基準

体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部・児童スポーツ教育学部・保健医療学部

次の（1）～（5）の要件を全て満たしている者とする。

（1）志望学部学科・コースへの志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。

（2）学業成績は原則として全体の学習成績の状況（評定平均値）3.0以上であること。

（3）本学入学後も競技を継続し、その競技力の更なる向上を目指す者。ただし、スポーツ文化学部武道教育学科に出願する者は、本学入学後に本学学友会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者とする。

（4）４年間で資格等を取得するためには、取得に必要な実習等が複数あるため、学業と協議の両立を心がけることができる者。

（5）令和６年４月１日以降の競技成績が、原則として以下のいずれかに該当する者。

・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。

・スポーツ競技大会（全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ（体育）大会、全日本選手権大会等の規模以上の日本の大会とし、定時制及び通信制等の全国大会の成績は含まない）に選手として出場した者。

・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

3．選抜日程

出願期間	令和8年11月 1日（日）～ 令和8年11月 4日（水）　※期間内消印有効
試験日	令和8年11月14日（土）
合格発表日	令和8年12月 1日（火）
入学手続締切日	令和8年12月11日（金）

4．選考方法・時間割・試験場

調査書などの出願書類、筆記試験、面接試験等によって総合的に評価し、合否判定を行います。

時 間 割	時　間	試 験 場（※2）
試験場入室時間	9：00 ～　9：40	本　学：東京・世田谷キャンパス 名古屋：名城大学天白キャンパス 大　阪：大和大学
小論文試験（60分）	10：00 ～ 11：00	
集団面接（10分目安）（※1）	12：00 ～ 16：00（予定）	

本 学 会 場	東京・世田谷キャンパス	〒158-8508 東京都世田谷区深沢７－１－１
名 古 屋 会 場	名城大学　天白キャンパス	〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口１－501
大 阪 会 場	大和大学	〒564-0082 大阪府吹田市片山町２－５－１

※1 集団面接の人数は原則３名で行いますが、試験当日変更する場合があります。

※2 出願時に、受験を希望する試験場を１箇所選択してください。試験場の決定は受験票に記載しますので、必ず確認してください。

5．入学検定料

35,000円

6．出願書類

（1）提出方法

Web出願完了後に、Web出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角２封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」扱いで郵送してください。（「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）

なお、窓口出願は受け付けておりません。

（2）提出書類（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor02）

① 志願票・写真票（所定用紙１）

Web出願完了後、Web出願サイトより印刷してください。

余白および志願票・写真票は切り離してください。

② 調査書

- 出身学校長が作成し、厳封したもので、出願締切日から３か月以内に発行されたもの。
- 令和９年３月卒業または修了見込みの者は、原則として３年次前学期・１学期までの成績が記載されているものを提出してください。なお、記載できない場合は２年次修了成績でも可とします。

  ※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

③ 推薦書〔スポーツ推薦〕（所定用紙２）

- 本学ホームページより印刷し、出身学校長が作成し、厳封したもの。
- 「最も優れた成績」には、推薦基準に該当する最も優れた競技成績（順位）を１つ記入してください（複数の競技成績を記入することはできません）。
- 「貼付資料」欄に上記の競技成績を証明する資料（新聞・雑誌の切抜き、表彰状の写し等）を貼付してください。
- 団体競技の場合は、個人が特定でき、選手として試合に出場したことが証明できるスコアシート等の個人名にマーカーで印を付けて、併せて貼付してください。

- 競技成績が記載された資料に自分が出場したことが記されていない場合、大会主催団体に出場記録等の証明書類が発行されないか問い合わせてください。主催団体でそれらの書類が発行されない場合は、高等学校長や監督等が作成した出場証明（書式自由）を貼付してください。
- 資料が新聞・雑誌の場合は、新聞名、雑誌名、掲載年月日を記載してください。
- 「中央競技団体等が認定する強化指定選手である者」を推薦基準として出願する者は、それを証明するものを貼付してください。
- 資料を縮小する場合は、文字が読める程度に枠内に収まるようにしてください。
- 資料の貼付方法は、所定用紙裏面の注意事項を参照してください。

※Web出願時に推薦書と同じ競技成績を入力する必要があります。

④ **受験日変更申請書（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor06）**

選考試験日と、受験者が出場する大会が重複した場合に、以下の通り本学が予め設定した予備日での受験を認めることとします。

（1）対象選抜区分・日程

対象選抜区分	選考試験日	予 備 日
学校推薦型選抜スポーツ推薦	令和8年11月14日（土）	令和8年11月16日（月）

（2）対象者

選考試験日が全国大会･国際大会（それに繋がる大会も可とする）または日本代表合宿等の日程と重複し、本学が予備日での受験を認めた者。

（3）申請方法等

予備日での受験を希望する場合は、出願時に本学ホームページより**「受験日変更申請書（所定用紙）」**を印刷し、大会日程・出場を証明する資料を他の出願書類とともに提出（郵送）してください。

予備日での受験可否については、選考試験日５日前を目途にメールにて通知します。

【注意事項】

※ 各選抜区分の出願期間後の申請は受け付けません。

※ 出場が確定していない場合でも本申請を行ってください。その際、所定用紙の【受験日変更理由】にその旨記載ください。出場可否が確定した時点で、アドミッションセンターまで必ずご連絡ください。

⑤ **受験上の配慮申請書・外国籍保有者願書・大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】（写）**

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合はp.27、外国籍を有する者はp.27、高等教育の修学支援新制度を受ける場合はp.39をご確認ください。

指 定 校 推 薦

1．出願資格

次の（1）～（4）のいずれかに該当し、各選抜の出願要件を満たす者。

（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和９年３月卒業見込みの者。

（2）特別支援学校の高等部または高等専門学校を令和９年３月修了見込みの者。

（3）通常の課程による12 年の学校教育を修了した者、または令和９年３月修了見込みの者。

（4）学校教育法施行規則第150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、または令和９年３月までにこれに該当する見込みの者。

※（4）に該当する者で、調査書等の出願書類が提出できない方は、必ず出願開始の２週間前までにアドミッションセンターまで申し出てください。

2．推薦基準

体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部・児童スポーツ教育学部・保健医療学部

指定校推薦は、本学が指定する学校による推薦に基づく入学者選抜です。公募制ではありません。

詳細については、指定する高等学校長に別途連絡いたしますので、在学中の高等学校にてご確認ください。

3．選抜日程

出 願 期 間	令和8年11月　1日（日）～ 令和8年11月　4日（水）　※期間内消印有効
試　験　日	令和8年11月14日（土）
合格発表日	令和8年12月　1日（火）
入学手続締切日	令和8年12月11日（金）

4．選考方法・時間割・試験場

調査書などの出願書類、面接試験等によって総合的に評価し、合否判定を行います。

時 間 割	時　間	試 験 場（※3）
書 類 審 査（※1）		
試 験 場 入 室 時 間	9：00 受験者ごとに定め、順次実施します。 試験場入室時間および面接開始時間は受験票で通知します。	本　学：東京・世田谷キャンパス 名古屋：名城大学天白キャンパス 大　阪：大和大学
集 団 面 接（※2）	15分目安 本学会場：対面 サテライト会場：オンライン	

本 学 会 場	東京・世田谷キャンパス	〒158-8508　東京都世田谷区深沢７－１－１
名 古 屋 会 場	名城大学　天白キャンパス	〒468-8502　愛知県名古屋市天白区塩釜口１－501
大 阪 会 場	大和大学	〒564-0082　大阪府吹田市片山町２－５－１

※１　書類審査は、出願書類を基に審査します。

※２　集団面接の人数は原則３名で行いますが、試験当日変更する場合があります。

※３　出願時に、受験を希望する試験場を１ 箇所選択してください。試験場の決定は受験票に記載しますので、必ず確認してください。

5．入学検定料

35,000円

6．出願書類

（1）提出方法

Web出願完了後に、Web出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角２封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」扱いで郵送してください。（「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）なお、窓口出願は行っておりません。

（2）提出書類（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor01）

① 志願票・写真票（所定用紙１）

Web 出願完了後、Web出願サイトより印刷してください。

余白および志願票・写真票は切り離してください。

② 調査書

・ 出身学校長が作成し、厳封したもので、出願締切日から３か月以内に発行されたもの。

・ 令和９年３月卒業または修了見込みの者は、原則として３年次前学期・１学期までの成績が記載されているものを提出してください。なお、記載できない場合は２年次修了成績でも可とします。

※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

③ 推薦書（所定用紙_指定校推薦用）

・ 出身学校長が作成し、厳封したもの。

※ 所定用紙（ホームページでも印刷可）は別途、本学より指定校へ送付いたしますので、出身校の担当教員へ確認してください。

④ 受験上の配慮申請書・外国籍保有者願書・大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】（写）

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合はp.27、外国籍を有する者はp.27、高等教育の修学支援新制度を受ける場合はp.39をご確認ください。

指定校推薦（地域教員養成方式）

1．出願資格

次の（1）～（4）のいずれかに該当し、各選抜の出願要件を満たす者。

（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和９年３月卒業見込みの者。

（2）特別支援学校の高等部または高等専門学校を令和９年３月修了見込みの者。

（3）通常の課程による12 年の学校教育を修了した者、または令和９年３月修了見込みの者。

（4）学校教育法施行規則第150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、または令和９年３月までにこれに該当する見込みの者。

※（4）に該当する者で、調査書等の出願書類が提出できない方は、必ず出願開始の２週間前までにアドミッションセンターまで申し出てください。

2．推薦基準

体育学科・健康学科・児童スポーツ教育学科（児童スポーツ教育コース）

指定校推薦は、本学が指定する学校による推薦に基づく入学者選抜です。公募制ではありません。

詳細については、指定する高等学校長に別途連絡いたしますので、在学中の高等学校にてご確認ください。

3．選抜日程

出願期間	令和8年11月 1日（日）～ 令和8年11月 4日（水）	※期間内消印有効
試験日	令和8年11月14日（土）	
合格発表日	令和8年12月 1日（火）	
入学手続締切日	令和8年12月11日（金）	

4．選考方法・時間割・試験場

調査書などの出願書類、面接試験等によって総合的に評価し、合否判定を行います。

時間割	時間	試験場（※3）
書類審査（※1）		
試験場入室時間	9：00 受験者ごとに定め、順次実施します。 試験場入室時間および面接開始時間は受験票で通知します。	本　学：東京・世田谷キャンパス 名古屋：名城大学天白キャンパス 大　阪：大和大学
個人面接（※2）	10分目安 本学会場：対面 サテライト会場：オンライン	

本学会場	東京・世田谷キャンパス	〒158-8508 東京都世田谷区深沢７－１－１
名古屋会場	名城大学　天白キャンパス	〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口１－501
大阪会場	大和大学	〒564-0082 大阪府吹田市片山町２－５－１

※1 書類審査は、出願書類を基に審査します。

※2 事前課題（学修計画書）は、面接試験の参考資料とします。

※3 出願時に、受験を希望する試験場を1 箇所選択してください。試験場の決定は受験票に記載しますので、必ず確認してください。

５．入学検定料

35,000円

６．出願書類

（1）提出方法

Web出願完了後に、Web出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角２封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」扱いで郵送してください。（「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）なお、窓口出願は行っておりません。

（2）提出書類（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor01）

① 志願票・写真票（所定用紙１）

Web 出願完了後、Web出願サイトより印刷してください。
余白および志願票・写真票は切り離してください。

② 調査書

・ 出身学校長が作成し、厳封したもので、出願締切日から３か月以内に発行されたもの。
・ 令和９年３月卒業または修了見込みの者は、原則として３年次前学期・１学期までの成績が記載されているものを提出してください。なお、記載できない場合は２年次修了成績でも可とします。
※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

③ 事前課題〔学修計画書〕（所定用紙３）

本学ホームページより印刷し、黒のボールペン（消せるボールペン不可）を使用して記入してください。
記入を誤った場合は、修正テープ等で修正してください。

④ 推薦書（所定用紙_指定校推薦（地域教員養成方式）用）

・ 出身学校長が作成し、厳封したもの。
※ 所定用紙（ホームページでも印刷可）は別途、本学より指定校へ送付いたしますので、出身校の担当教員へ確認してください。

⑤ 受験上の配慮申請書・外国籍保有者願書・大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】（写）

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合はp.27、外国籍を有する者はp.27、高等教育の修学支援新制度を受ける場合はp.39ご確認ください。

出願に関する注意事項

1．受験票について

出願書類到着後、Web出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。（p.31「受験票の印刷」を参照）

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験３日前までにWeb出願サイト上に受験票が確認できない場合、アドミッションセンターまで連絡してください。

※ 不正行為の疑いをもたれぬよう、裏面も含め一切の書き込みをしないでください。

2．学校推薦型選抜を受験するにあたって

（1）入学前教育の実施について

本学では、学校推薦型選抜で合格した入学予定者に対し、本学入学までの時間を有意義に過ごしてもらうために「入学前教育」を実施します。詳細は合格発表日以降に連絡します。入学予定の学科によっては、その実施にあたって自己負担となる場合がありますので、予めご承知おきください。

（2）出願上の注意

① 不備のある出願書類や出願締切後に発送された出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出された出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

- 入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。
- 入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 本学学校推薦型選抜に合格し入学手続を行った者は、本学の他の選抜区分及び他大学の入学者選抜を受験できません。また入学辞退もできません。

④ 出願書類に虚偽の記載がなされていた場合、入学前に重大な不祥事を起こした場合は、合格の場合でも合格取消となりますので、公正な手続き等によって出願・受験して下さい。

⑤ 志願者数確定後、志願者数速報を本学ホームページ（https://www.nittai.ac.jp/）でお知らせします。

3．障がい等のある入学志願者の事前相談について

（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor07）

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合は本学ホームページより**「入学者選抜受験上の配慮について」**を確認し、**「入学者選抜受験上の配慮申請書（所定用紙Ａ）」**を提出してください。

4．外国籍を有する者の出願書類について

（参照：https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor08）

外国籍を有する者は、本学ホームページより**「外国籍保有者願書（所定用紙Ｂ）」**を確認し、所定用紙を提出してください。なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続時に保証人を定めて届けることとしています。保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者とします。

なお、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

5．本学からの連絡について

本学からの連絡については、出願時に登録した電話番号またはE-mailアドレス宛に行います。ドメイン指定受信をしている場合は、本学からのメール（@nittai.ac.jp / @ml.nittai.ac.jp / @e-apply.jp）が受信できるように予め設定しておいてください。

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類はいかなる理由でも受け付けません。

Web出願の流れ

入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	入学検定料の支払い	必要書類の郵送	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。（スマートフォン、タブレットは非推奨）
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※必要書類…調査書、顔写真データ（10MBまで）、各選抜毎の提出書類など

STEP 2 Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/nittai-net/**
または、
大学ホームページ ▶ **https://www.nittai.ac.jp/**
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをおしてください。

STEP 4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②選抜区分選択と留意事項の
確認

③志望学部等の選択

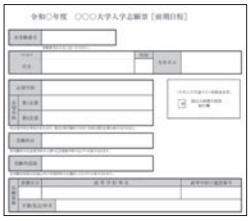
④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名･住所等）の
入力

⑥出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											

確認番号メモ（6桁）						

収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
ヤマザキデイリーストアー
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払いPayment/Charge）」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える	「お客様番号（11桁）」入力	「お客様番号（11桁）」入力	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号（6桁）」入力	「確認番号（6桁）」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う※		発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る		取扱明細書兼領収書を必ず受け取る		

4 銀行ATM

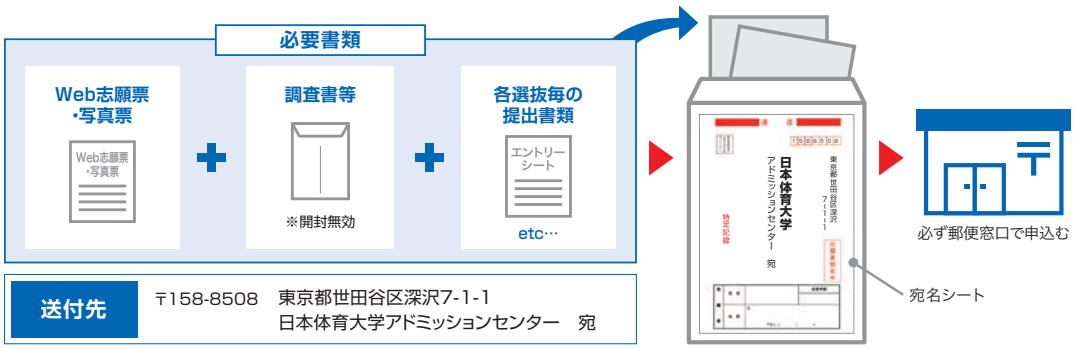
Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6 必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」で郵送してください。（出願期間内消印有効）



送付先	〒158-8508　東京都世田谷区深沢7-1-1 日本体育大学アドミッションセンター　宛

■出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

必要書類	必要部数	内　容
①Web志願票・写真票	各1	入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。
②調査書等	1	●出身学校長が作成し、厳封したもので、出願締切日から3か月以内に発行されたもの。 ●原則として3年次前学期・1学期までの成績が記載されているものを提出してください。なお、記載できない場合は2年次修了成績でも可とします。 ※廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。
③各選抜毎の提出書類	1	詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。
④その他	各1	各選抜の必要書類を確認し、該当する方は提出してください。

※出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP 7 受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に**出願期間受付終了後から試験3日前（一次選考がある場合は一次選考合格発表日の2日前）までに**一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（**※郵送はいたしません**）。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。

出願手続Q&A

	質　問	回　答
1	Web出願はいつからできますか。	各選抜区分の出願開始日８時30分より出願できます。
2	出願書類は、事前に準備できますか。	「推薦書」「自己推薦書」「事前課題」は本学ホームページに掲載しております。 事前に準備が可能ですので、必要書類を印刷して、取り組んでください。 なお「推薦書」は高等学校の先生が記入しますので、早めに相談して、確認してもらってください。
3	Web出願で出願手続が完了しますか。	Web出願のみでは手続は完了しません。 本学の「Web出願」は、インターネット上で受験に関する出願情報を登録し、入学検定料を納入後、必要書類をプリンターで印刷し、必要書類を郵送する必要があります。本学で受理されて初めて正式な出願となります。
4	氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまうのですが、どうすればいいですか。	氏名や住所などの個人情報を入力後、登録エラーになった場合は、代替の漢字（ない場合はひらがな）を入力してください。 入力できない旨のメモ（A4サイズ）を出願に必要な書類に同封してください。
5	操作を誤って希望とは異なる学科や選抜区分を選択してしまった場合、変更は可能ですか。	出願期間内であれば修正可能です。アドミッションセンターまでお問い合わせください。なお、入学検定料を納入していない場合は、新たに登録をやり直してください。
6	Web出願完了後に氏名・住所等の内容に誤りがあった場合、どのようにすればいいですか。	入学検定料を納入した時点でWeb上での変更は一切できません。 出願封筒に手書きのメモで構いませんので、修正したい内容を記載して同封してください。 入学検定料を納入していない場合は、新たに登録をやり直してください。
7	Web出願手続後、大学に出願書類を送付する際の要領について詳しく教えてください。	角２封筒（角形２号）をご自身で用意していただきます。（色の指定なし） ①調査書、②写真票・志願票、③各選抜区分で定められた書類、を本学アドミッションセンター宛に「速達・特定記録郵便」扱いで郵送してください。なお、写真票・志願票を出力時に、本学宛の住所が記載された宛名シートも印刷できますので使用してください。
8	自宅にパソコンやプリンターが無い場合はどのようにすればいいですか。	高等学校等自宅以外の環境で手続してください。
9	印刷した志願票・写真票について、余白は全て切り取ってから封筒に同封した方がいいですか。	「切り取り線」に従って切り取り、同封してください。 なお、切り取らずに同封してしまった場合でも問題ありません。
10	受験票はいつから印刷できますか。	受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。 試験３日前までにWeb 出願サイト上に受験票が確認できない場合、アドミッションセンターまで連絡してください。
11	「※受験番号欄」は、受付番号等を記載しますか。	記載しないでください。「※受験番号欄」は、大学側で記載いたしますので空欄のまま同封してください。

受験上の注意事項

1．試験当日の注意事項

(1) 持参するものについて

① 受験票

受験票を紛失または忘れた場合は、本学試験担当者に申し出てください。

② 筆記用具

黒鉛筆（HB）またはシャープペンシル（HB）、プラスチック製消しゴム

③ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）

試験場内に時間を確認できる時計がない場合がありますので、腕時計等を持参してください。

④ 服装・昼食（任意）

試験場換気による窓の開放等を行う時間帯があるため、必要に応じて上着等暖かい服装を持参してください。また、試験会場では学生食堂等の営業は行わないため、必要に応じて昼食を持参してください。なお、飲食は自席に限ります。

※ 会場内備え付けの自動販売機は利用可能ですが、数に限りがありますので、飲み物はできる限り各自でご用意ください。

(2) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

(3) 筆記試験において英字文や漢字等がプリントされている衣類（上着）は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。その他着衣について指示があった場合は従ってください。

(4) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、試験場から退構するまで、かばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

(5) キャンパス入構時に受験票を提示してください。入構後は、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

(6) 可能な限り、試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

なお、以下の日程は入学者選抜準備及び実施のため、本学キャンパス内に入構できません。

【東京・世田谷キャンパス】

令和8年10月10日（土）～	令和8年10月11日（日）
令和8年10月16日（金）～	令和8年10月18日（日）
令和8年11月13日（金）～	令和8年11月14日（土）
令和8年12月11日（金）～	令和8年12月12日（土）
令和9年　1月15日（金）～	令和9年　1月17日（日）
令和9年　1月29日（金）～	令和9年　2月　4日（木）
令和9年　2月20日（土）～	令和9年　2月21日（日）

(7) 試験当日の緊急情報は右記URLより確認できます。　https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/

(8) 車での来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

(9) 遅刻した場合について

試験開始後20分までに試験場（キャンパス内）に到着した場合に限り、受験を認めます。

※ 選考方法によって試験時間が異なります。詳細は各選抜要項を確認してください。

(10) 公共交通機関の遅延等により、試験場入室時間終了までに間に合わない場合は、直ちにアドミッションセンターへ連絡してください。また、当該公共交通機関において遅延証明書を必ず受領してください。

（11）受験者以外の方は会場内に入れません。（付添人控室はありません。）

（12）事故・怪我については応急処置をしますが、それ以上の責任は負いかねます。安全に十分注意して試験に臨んでください。

2．試験時間中の注意事項

（1）小論文試験時について

① 「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。

② 「受験票」の他に試験時間中、机上に置けるものは以下のとおりです。

- 黒鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）
- 鉛筆キャップ
- プラスチック製消しゴム
- 鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
- 眼鏡
- ハンカチ
- ティッシュペーパー（袋または箱から取り出した紙のみであること）
- 目薬

③ 「耳せん」は、放送や試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので、キャンパス内では使用できません。

④ 座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

⑤ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

⑥ 不正行為について

以下のことを行うと不正行為になる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退出を指示され、それ以降の受験はできません。また、受験した全ての成績が無効になります。

- カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の受験者から答えを教わること等）を行うこと。
- 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けを行うこと。
- 問題や解答用紙を試験場から持ち出すこと。また、問題を書き写すこと。
- 試験監督者の指示に従わず、問題を見る、解答を始める、または解答をやめないこと。
- 試験時間中に使用を認めていないものを机上に置くこと及びそれらを使用すること。
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと。
- その他試験監督者の指示に従わないこと。

（2）試験監督者の巡視について

試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

合否照会について

本学の合格発表は、「合否照会システム（インターネット）」により合否案内を行います。不合格通知書は送付いたしません。また、アドミッションセンターに直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けできませんので、下記照会方法をご確認ください。なお、合格通知書は Web 入学手続サイトより各自ダウンロードできます。

1．利用方法・注意点

（1）インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。

（2）「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

（3）合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。

（4）合否照会の利用期間は次のとおりです。

選抜区分	合否照会システム利用期間		
スポーツ推薦	合格発表	令和8年12月 1日（火）～令和8年12月18日（金）	初日 10:00より 最終日 23:59まで 確認可能
指定校推薦			
指定校推薦（地域教員養成方式）			

2．照会方法

https://www.gouhi.com/nittai/

合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ（https://www.nittai.ac.jp/）からも、上記アドレスへアクセスできますのでご利用ください。

入 学 手 続

合格者への入学手続書類の郵送は行いません。入学手続については、合否照会システムの案内に従ってください。

1．入学手続締切日

選 抜 区 分	手 続 締 切 日
スポーツ推薦	令和8年12月11日（金）
指定校推薦	
指定校推薦（地域教員養成方式）	

（1）入学手続時納入金（学費等）は、Web入学手続サイトより「振込用紙」を印刷し、入学手続締切日までに金融機関窓口でお振込ください。

（2）入学手続書類は必要書類を用意し、手続締切日（消印有効）までに郵送してください。（インターネット上での手続の締切日も同日）

（3）入学手続締切日までに未納だった場合は、入学辞退となりますので注意してください。

（4）振込金受取書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。

（5）入学手続締切日以降に入学手続者へ入学手続完了の旨を、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

2．入学辞退について

提出期限：【窓口】令和９年３月31日（水）17：00まで

【郵送】令和９年３月31日（水）消印有効（速達・特定記録郵便としてください。）

入学手続時納入金（学費等）を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金（￥300,000）を除く納入金を返還いたします。手続方法については、入学手続書類に記載いたします。

（注意）

学校推薦型選抜合格者で入学手続を行った者は、入学辞退ができません。（p.27（2）出願上の注意③参照）

特別な事情により入学辞退を希望する場合は、アドミッションセンターまでご相談ください。

3．入学手続における個人情報の取扱いについて

入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。なお、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、提出していただいた個人情報を、委託業者に対して提供することがあります。予めご了承ください。

学費案内

（円）

費目			体育学部 スポーツ文化学部 スポーツマネジメント学部 児童スポーツ教育学部		保健医療学部			
					整復医療学科		救急医療学科	
			前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
①学費	入学金	入学時のみ	300,000	—	300,000	—	300,000	—
	授業料		400,000	400,000	450,000	450,000	450,000	450,000
	施設整備費		125,000	125,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	教育充実費		100,000	100,000	125,000	125,000	125,000	125,000
	健康管理費		10,000	—	10,000	—	10,000	—
	実習費		—	—	100,000	—	250,000	—
②その他の費用	学友会費		13,000	—	13,000	—	13,000	—
	保護者会費		15,000	—	15,000	—	15,000	—
	同窓会入会金	入学時のみ	20,000	—	20,000	—	20,000	—
分納の場合	③前学期納付金		983,000	—	1,183,000	—	1,333,000	—
	後学期納付金		—	625,000	—	725,000		725,000
一括納入の場合（①+②）			1,608,000		1,908,000		2,058,000	

- 授業料・施設整備費・教育充実費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合の入学手続時の納入金額は、③の金額となります。（分納された方の後学期分納分の振込用紙は、1年次10月初旬に郵送します。）
- 入学金・同窓会入会金以外の費目（金額）については、2年次以降も納入していただきます。
- 学外集中実技を履修した際は、その都度費用をお支払いいただくことになります。
- スポーツ文化学部では、選択必修の海外での実習を行いますので、その実費をお支払いいただきます。
  参考：スポーツ文化学部令和8年度実習費300,000円（入学後別途案内）
- 日本体育大学奨学生は、上記のうち、学費の一部が免除されます。詳細については、p.38 ～ p.39の「日本体育大学奨学生制度」をご覧ください。

寄付金について

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
ただし、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」（教育貸し付け）について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫（日本公庫）が扱っています。
詳しくは、教育ローンコールセンター 0570-008656（03-5321-8656）、または「国の教育ローン」で検索、https://www.jfc.go.jp/ から「国の教育ローン」を選択してください。

●「提携学費ローン」について

日本体育大学が提携する企業を通し、一般より有利な条件で学費を融資してもらう制度です。提携企業による申請資格や審査、融資年利率が設定されるものです。（本学HP：学生生活＞学費・奨学金＞学費　奨学金・教育ローン参照）

名称	日本体育大学学費ローン	
提携先	株式会社オリエントコーポレーション	楽天銀行株式会社
問合せ先	株式会社オリエントコーポレーション　学費サポートデスク	楽天銀行　カードセンター　教育ローン専用ダイヤル
営業時間	平日 9：30～17：30（土日を除く）	平日 9：00～19：30（土日祝日 9：00～17：30）
☎	0120－517－325	0120－61－6910

学生生活案内

1．授業実施キャンパスについて

（1）体育学部

体育学部は、東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスの両キャンパスを使用して授業を実施します。

体育学科：1,2年次は横浜・健志台キャンパスが中心となり、東京・世田谷キャンパスでの授業は週１回程度となる予定です。

健康学科：1,2年次は東京・世田谷キャンパスが中心となり、横浜・健志台キャンパスでの授業は週１回程度となる予定です。３年次以降は東京・世田谷キャンパスが中心となる予定です。

（2）スポーツ文化学部

スポーツ文化学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

（3）スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

（4）児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

（5）保健医療学部

保健医療学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

2．クラブ活動拠点キャンパスについて

各クラブの活動拠点については「日本体育大学クラブパンフレット 2026」からご確認ください。

https://www.nittai.ac.jp/albums/abm.php?d=532&f=abm00010820.pdf&n=☆R08 クラブパンフ _ALL.pdf

3．日本体育大学奨学生制度

本学では、学業成績または競技成績が優秀で心身ともに健全な学生に対し、奨学生制度を設け、学費について次表のとおり減免を行っています。

なお、この制度は本学奨学生選考委員会の選考を経て、**年度ごとに採用されるもの**です。そのため、前年度に奨学生であっても、学業成績や競技成績等により奨学生選考委員会で選考した結果、翌年度は奨学生ではなくなる場合があります。予めご了承ください。

No.	名　称	対　象	免除する費目		申請時期等
1	特別奨学生Ａ	競技成績優秀者 ［体育学部］ ［スポーツ文化学部］ ［スポーツマネジメント学部］ ［児童スポーツ教育学部］ ※児童スポーツ教育学科・児童スポーツ教育コースのみ対象	１年次	「入学金」、「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額	申請不要（学費納付時に該当者に通知）
			２～４年次	「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額	
2	特別奨学生Ｂ		１年次	「入学金」、「施設整備費」の全額	
			２～４年次	「施設整備費」、「教育充実費」の全額	
3	一般奨学生	入学試験（総合型選抜基礎学力方式）合格者の上位の者 ［保健医療学部］	１年次	「入学金」	申請不要 （学費納入時に該当者に通知）
		学業成績優秀者（１年次前学期GPA等） ［体育学部、スポーツマネジメント学部、児童スポーツ教育学部］	１年次	「入学金」、「施設整備費」	申請不要 （１年次前学期成績確定後に通知）
		学業成績優秀者（１年次前学期GPAおよびTOEIC IPテスト等） ［スポーツ文化学部］			
		学業成績優秀者（前年度GPA等） ［全学部］	２～４年次	「施設整備費」、「教育充実費」	申請不要 （学費納入時に該当者に通知）

No.	名　称	対　象	給付	申請時期等
1	メイドー・MCS・長谷川奨学金（2、3、4年次）	課外活動等の大学生活において目標に向けて強い志を持って取り組んでいる者	25万円	前年度後学期に申請（1、2、3年次に申請）
2	雄渾奨学金	奨学金の貸与を受けている者でかつ経済的に困窮し修学困難な者	20万円	毎年次9月～10月頃

4．学費減免制度

本学では、学費納付者の負担軽減を図るために学費減免制度を設けています。詳細は以下のとおりとなります。

対　象	免除する項目	申請時期等	備　考
同一の扶養者により扶養されている兄・姉が本学に在学する入学生（双子入学の場合はどちらか１名）	「入学金」	入学した年度の６月末まで	
日本学生支援機構等、奨学金の貸与を受けても、なお学費納入が困難で学業成績が平均水準以上の者（２、３、４年次）	後学期「施設整備費」・「教育充実費」（単年度採用）	毎年次７月	採用枠あり
１年以内に家計急変があり日本学生支援機構奨学金を併用してもなお学費納入が困難な者	当該学期「施設整備費」・「教育充実費」（単年度採用）	随時応相談	

5．国による高等教育の修学支援新制度

（文部科学省HP：https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html）

2020年４月からスタートした高等教育の修学支援新制度は、一定の学業基準、家計基準を満たせば、授業料等の減免や日本学生支援機構の給付奨学金が受けられる制度です。この制度による支援を受けるには、まず日本学生支援機構給付奨学金に申請が必要です。採用された日本学生支援機構の給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額も決定されます。

なお、大学での取り扱いにつきましては、出願時に「大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】」のコピー（白黒可）を提出した場合、入学手続時に授業料等を減免した納付書を発行します。申請中の状態である場合は、所定の金額を納入していただき、入学後に減免額を還付します。還付時期等につきましては、日本学生支援機構給付奨学金の採用者説明会（５～６月予定）にてお知らせします。

■支援内容	１．授業料・入学金の減額 ２．給付型奨学金の支給（日本学生支援機構）
■支援対象	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ※ 支援を受けられる年収目安と支援額は、日本学生支援機構ホームページにてご確認頂けます。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html
■申請方法等	日本学生支援機構奨学金（給付）申込手続きを行ってください。採用者に対しご案内します。

６．寮　案　内

（１）主　旨

学生寮は学生の経済的負担を軽減するための厚生施設であるとともに、共同生活を通して相互の親睦を深め、社会人・体育人としての基礎的教養を身につけ、実りある学生生活を送るよう、指導・助言にあたっています。

（２）施　設

寮　名	建物構造	部屋数	総定員数	所　在　地
深　沢　寮（男子）	鉄筋６階建	69室	256名	東京都世田谷区深沢５－12－17
和　泉　寮（女子）	鉄筋３階建	125室	250名	東京都世田谷区中町５－10－17
健志台寮（男子）	鉄筋４階建	132室	492名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町字上谷戸946－２
健志台桜寮（女子）	鉄筋５階建	80室	132名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町550－１

冷暖房完備で洗濯機、乾燥機及びセキュリティボックス等が設置されています。

（３）申込条件

寮別の申込条件は、以下のとおりです。

寮　名	申　込　条　件
深　沢　寮（男子）	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
和　泉　寮（女子）	学友会団体に所属が決定している方のみ入寮の申し込みができます。
健志台寮（男子）	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
健志台桜寮（女子）	横浜・健志台キャンパスを拠点として活動する学友会運動部、もしくは公認団体の競技部門に入部希望の方が優先的に申込めます。 なお、保健医療学部の学生は入部を希望しなくても申込めます。ただし入寮手続者が多い場合は希望に添えないことがあります。

（4）費　　用（令和８年度参考例）

寮　　名	入寮費	食　　費	寮　費（月額） ※ 光熱水費含む	年　額
深　沢　寮（男子）	20,000 円	1,620 円 / 日（３食） ※ 春季・夏季・冬季休業時の提供なし	32,000 円	846,320 円
和　泉　寮（女子）				
健 志 台 寮（男 子）	20,000 円	1,859 円 / 日（３食）	33,000 円	1,041,273 円
健 志 台 桜 寮（女子）	20,000 円	1,100 円 / 日（２食） ※ 昼食・日曜の提供なし	１人部屋　52,000 円 ２人部屋　36,000 円	974,000 円 782,000 円

入寮費は、初回時のみ徴収します。また、更新時に 10,000 円徴収します。

（5）申込書類（学生寮案内及び入寮手続書類）

合格者を対象にご案内する「合格者専用サイト」に掲載致します。

（6）問い合わせ先

深沢寮・和泉寮　　TEL　03－5706－0904

健志台寮・健志台桜寮　　TEL　045－963－7905

事務取扱時間：月曜～金曜　8：30 ～ 17：00

◆ 入学者選抜に関するお問い合わせ先 ◆

日　本　体　育　大　学

アドミッションセンター

東京・世田谷キャンパス

〒158-8508　東京都世田谷区深沢７－１－１
TEL 03-5706-0910（直通）　FAX 03-5706-0819（専用）

事 務 取 扱 時 間：月曜～金曜　8：30～17：00
夏季一斉休業期間：2026年８月８日（土）～2026年８月16日（日）
冬季一斉休業期間：2026年12月26日（土）～2027年１月５日（火）

本学ホームページ　https://www.nittai.ac.jp/

入学者選抜に関する緊急情報
https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/

※ 試験当日の緊急情報（交通機関の乱れによる試験開始時刻繰り下げ対応等）も
上記アドレスで確認できます。